



DAIWA だより

第 31 号 発行：2022 年 5 月 株式会社 ダイワ

平素より環境事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
新緑の美しい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。四月としては異例の暑さで、
はやくも真夏日となりました。昨年も猛暑でしたが、この調子だと今年も昨年と劣らず暑い夏に
なるのではないかと心配しております。気まぐれな気候ですがお身体には十分お気を付けください。
今回の第 31 号は、最近改正された環境法令情報についてご紹介いたします。

ダイオキシン類関係

日本産業規格 K0311 (排出ガス)、K0312 (排水) が改正されました。

・日本産業規格 K0311 の一部改正

(排ガス中のダイオキシン類の測定方法：JIS K 0311:2022)

令和 2 年 3 月 23 日付で、検量線範囲を超える場合、再度、試料ガスの採取を必要とする旨
の規定及び液体からの抽出に使用されていたジクロロメタンについて、安全性を考慮してトルエン
が追加される等の改訂がなされました。

・日本産業規格 K0312 の一部改正

(工業用水・工業排水中のダイオキシン類の測定方法：JIS K 0312:2020)

令和 2 年 3 月 23 日付で、定量時に検量線範囲を超える場合、再度、予備試料からやり直す
旨の規定、又試料水からの抽出方法に分散型固相吸着－凝集法（ダイオフロック）が追加される等
の改訂がなされました。

・ダイオキシン類に係る大気・土壌・底質における調査測定マニュアルの改訂

2020 年に排出ガス及び排水の測定方法について、JIS K 0311 及び JIS K 0312 が改正された
ことから、環境省が作成していた各種マニュアル：「ダイオキシン類に係る環境大気調査
マニュアル（平成 20 年 3 月版）」、「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル
（平成 21 年 3 月版）」、「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成 21 年 3 月版）」
について見直しが行われました。

目標検出下限・目標定量下限の変更や前処理方法の追加等の改訂がなされ、それぞれ令和 4 年 3
月版として 2022 年 3 月 25 日に環境省より発表されました。

アスベスト関係

JIS A1481-5「X線回折法によるアスベスト定量分析方法」の制定

JIS A1481-5「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部：X線回折法によるアスベストの定量分析方法（第1部の定性分析方法を用いる場合の方法）」（以下「JIS-5」）が8月20日制定された。これまで建材製品中及び天然鉱物中のアスベスト定性・定量分析に適用されるJIS-4法が制定されていましたが、建材製品中（アスベストが不純物として含有する恐れのある天然鉱物及びそれを原料としたできた製品の分析には、適用されない）のアスベスト定量法として、新たにこの「JIS-5」法が加わりました。

JIS-5は、JIS A1481-3をベースに作成された国際標準であるISO22262-3の方法を翻訳したもので、大部分の操作がJIS A1481-3と同じです。ISOにおいて国際標準とするための検討を加えたもので、JIS A1481-3をよりブラッシュアップされた方法と考えられます。

X線回折法で課題となるアスベスト分析上の干渉鉱物について、その概要と対策方法が加えられており、また附属書Cでは「市販のアスベスト含有材料のタイプ及び最適な分析手順」として建材ごとの分析方法が示されています。調査・分析においては、JIS A 1481-1による定性分析からの定量分析は、JIS A 1481-4、あるいはJIS A 1481-5で実施すべきとなった点が重要です。

建材の分析についてのJISが新たに加わりましたので簡単にご説明したいと思います。

建材分析のJISはこれまでJIS A 1481-1から-4でしたが、新たにJIS A 1481-5が加わりました。

JIS A 1481-1 市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法

※ 偏光顕微鏡で石綿の有り・無しを判定します。

JIS A 1481-2 試料採取およびアスベスト含有の有無を判定するための定性的判定方法

※ 位相差顕微鏡とX線回折を使って、石綿の有り・無しを判定します。

JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

※ X線回折を使って、石綿の含有率（%）を分析します。

JIS A 1481-4 質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法

※ 偏光顕微鏡を使って、石綿の含有率（%）を分析します。

JIS A 1481-5 X線回折法によるアスベストの定量分析方法

（JIS A 1481-1の定性的判定方法を用いる場合の方法）

※ JIS A 1481-1の定性分析の結果、石綿含有となった試料について含有率を調べる場合、X線回折を使って石綿の含有率（%）を分析します。

石綿の事前調査結果の報告が義務化

2022年4月1日以降に着工の工事から、建築物等の解体や改修（リフォーム）等工事の際に、工事前にアスベスト調査を行い、その調査結果を報告することが義務化されます。

報告方法は原則、「石綿事前調査結果報告システム」から電子申請で行う必要があります。

報告期日は着工前までです。

● 報告対象となる工事規模は下記の通りです。

※ 下記のいずれかに該当する場合には、アスベスト（石綿）の有無に関わらず、「石綿事前調査結果報告システム」を利用し、アスベストの事前調査結果を労働基準監督署等へ提出する必要があります。

【報告対象となる工事】（引用：石綿総合情報ポータル）

- ① 解体部分の延床面積が80㎡以上の建築物の解体工事
- ② 請負金額が税込100万円以上の建築物の改修工事
- ③ 請負金額が税込100万円以上の特定の工作物の解体または改修工事

《石綿障害予防規則および大気汚染防止法の改正》

1) 令和3年（2021年）4月1日施行

本改正に伴い、アスベスト含有の有無の事前調査対象範囲が実質的に拡大されました。具体的には、改正前は「改修とは、建材を全面的に取り替える等の作業をいい、小規模な作業を含むものではないこと。」とされていましたが、改正によりこの文言が削除されました。つまり、通達本文に記載されているごく限られた場合を除き、小規模な作業であっても事前調査の対象となるケースが大幅に増えることが想定されます。

2) 令和5年（2023年）10月1日施行

事前調査は、建築物石綿含有建材調査者等の一定の要件を満たす有資格者※が行う必要があります。※ 一定の要件を満たす有資格者は以下のとおりです。

① 建築物石綿含有建材調査者講習の修了者

- ・ 特定建築物石綿含有建材調査者
- ・ 一般建築物石綿含有建材調査者
- ・ 一戸建て等石綿含有建材調査者（※一戸建て住宅及び共同住宅の住戸の内部に限る）

② 令和5年9月30日以前に日本アスベスト調査診断協会に登録され、事前調査を行う時点においても引き続き同協会に登録されている者

<ちょっと一休み> 《今どきのマンホール》

以前、新聞を読んでいた時に小田原市のマンホール蓋についての記事を目にし、ダイワも下水にかかわる仕事をしているので興味が湧き、少し調べてみました。

小田原市では、小田原の街を楽しく散策できるように新たなデザインマンホール蓋が次々に誕生しています。また、これまでマンホールカードを配布するなど、近年のマンホールへの関心の高まりを背景に、新たな取り組みとして、令和2年4月1日より「小田原市デザインマンホール蓋設置事業」を開始し、自由なデザインのマンホール蓋を街なかに配置することで、下水道に興味を持ってもらい、さらには、観光客の集客向上などにも期待をしているようです。



さらに、バンダイナムコグループガンダムプロジェクト「ガンダムマンホールプロジェクト」では、全国の自治体と協力し、国内活性化と全国の世代を超えたガンダムファンとの絆を表す取り組みとして、ガンダムデザインのオリジナルマンホールの設置を目指すガンダムマンホールプロジェクトがあるそうで、ガンダムの生みの親である富野 由悠季さんの出身地が小田原市であるといった理由などから、このたび、プロジェクト第1号に選定され、2種類のマンホールの寄贈を受けることになりました。

他にも調べたところ、小田原市には色々なマンホール蓋がありました。やはり、小田原市と言えば小田原城。小田原城や武将などをモチーフにしたものから、かまぼこ通りに設置してあるマンホール蓋は、浮世絵の絵とともにかまぼこ通りが分かりやすく記してあります。また、かまぼこ通りには小田原市の姉妹都市でもある、東京都八王子市、埼玉県寄居町と交換し、設置されたマンホールもあります。小田原市だけでもたくさんのデザインマンホール蓋があります。



昨年、30年ぶりに小田原市のデザインマンホールのデザインが、今までの「酒匂の渡し」から「小田原の巡り」というデザインになり、第1号が小田原城址公園内に設置されています。

全国各地にあるデザインマンホール蓋には、ご当地のデザインやキャラクターをあしらったものなど工夫を凝らしたデザインが増えており、マンホール蓋のデザインを印刷したマンホールカードも発行されています。マンホール蓋は「路上のアート」とも呼ばれ、足元から楽しめる芸術作品です。マンホール蓋を巡りながら身近な街の良さを再発見したり、新しい楽しみ方もできそうです。

株式会社 ダイワ <DAIWA>

本 社 ●住所：〒254-0082 神奈川県平塚市東豊田 369
TEL：0463 (53) 2222(代) FAX：0463 (53) 2233

千葉支店 ●住所：〒283-0062 千葉県東金市家徳 238-3
TEL：0475 (58) 5221(代) FAX：0475 (58) 5415

小田原支店 ●住所：〒256-0811 神奈川県小田原市田島 734-14
TEL：0465 (42) 2354(代) FAX：0465 (42) 1652

URL <http://www.daiwa-env.com> e-mail info@daiwa-eco.com